JOYO BANK NEWS LETTER

2022 年 2 月 21 日

武蔵野銀行への「受取書アプリ」提供について

常陽銀行（頭取　笹島 律夫）は、このたび、2019 年 4 月より全店で利用している業務用スマートフォンアプリ「受取書アプリ[*1]」（以下、「本アプリ」）のシステムを、共同開発したデジタルサーブ株式会社（社長　松本 英俊）を通じて武蔵野銀行に提供しましたのでお知らせいたします。

武蔵野銀行では、本アプリをカスタマイズし、本日よりお客さまから通帳等物件のお預り業務を順次開始し、今後各営業店に展開していきます。

本アプリは NFC[*2] を活用した管理機能により、お預りした物件の出入庫管理が瞬時に行える特長を有しています。これにより、お預りした物件に係る管理事務の厳格化と事務負担の軽減が図れるため、お客さまとの面談時間の確保などに繋がります。

当行は、今後とも IT サービスの利活用を強化し、営業支援機能の強化や業務効率化を図るとともに、お客さまへのサービス向上に努めてまいります。

＊1　お客さまから通帳などをお預りする際のお待たせ時間の削減や、営業店内での処理時間の効率化を目的として、独自に開発したスマートフォンアプリです（詳細は下記をご参照）。

＊2　Near Field Communication の略。近距離無線通信の国際規格であり、かざすのみ（非接触）で機器認証が可能となる技術です。

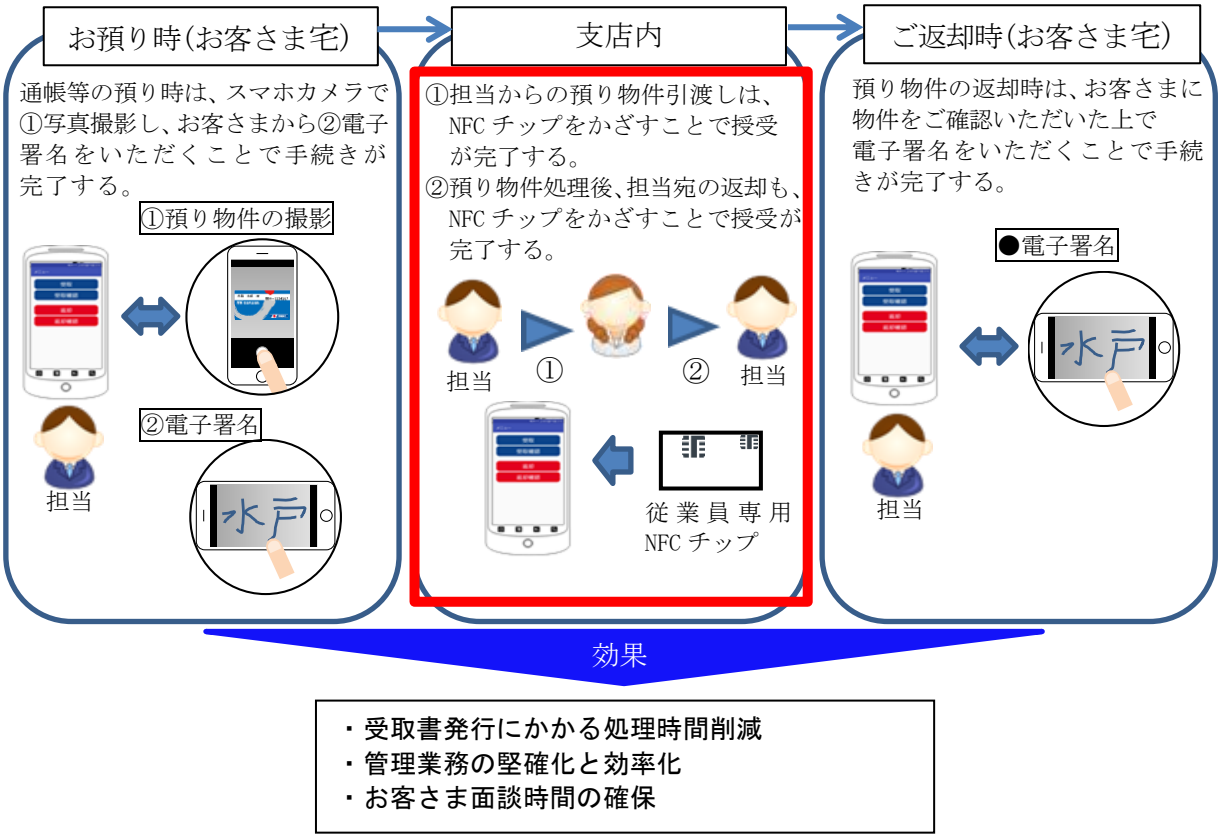
本アプリの特長
・お客さまからお預りする通帳や申込書等の書類をスマホのカメラで撮影し、お客さまから電子署名をいただくことで手続きが完了。 ・お預りした物件に関する登録作業を最小限としたほか、面談後の登録作業も可能。受取書発行にかかる処理時間を削減し、お客さまとの面談時間を確保。 ・お預りした物件を処理する際の管理業務について、スマホの NFC 機能を活用し、NFC チップをスマホにかざすのみで処理を瞬時に完結させることで、事務の堅確化と効率化を実現。 なお、NFC を活用した預り物件の授受等管理機能は、2020 年 4 月に当行にて特許を取得。

以　上

常陽銀行
〒310-0021 茨城県水戸市南町2-5-5
Tel. 029-231-2151（代表）　www.joyobank.co.jp

（別 紙）

【受取書アプリ処理イメージ】



※赤枠内の機能が特許の範囲

【デジタルサーブ株式会社の概要】

会　社　名	デジタルサーブ株式会社
代　表　者	代表取締役　松本　英俊
住　　所	茨城県水戸市白梅 2 丁目 3 番 16 号
設　　立	1993 年 10 月 1 日
業務概要等	アプリケーション開発、ネットワーク構築、パッケージソフト販売事業
備　　考	2020 年に経済産業省が選定する地域未来牽引企業として認定